



# 令和5年度 学校経営計画全体構想図



経営理念「**ウェルビーイング**」に向けて  
学校の**主体は生徒** 生徒一人一人が輝く学校を作ろう



## 経営方針

- ・「**人間力あふれる学校**」の創造
- ・前向きで活動的な学校文化
- ・**コミュニティ・スクール**を基盤とした地域とつながる学校づくり

### 令和4年度「全国学力・学習状況調査」の結果

- 正答率は理科・数学ともに全国・県平均並、国語高い。将来の夢・目標同程度。
- ICT活用率は全国・県平均より超高い、ボランティア参加率大幅減少、中間指導が課題。
- 振返りの明確化、思考力・判断力の育成、主体的な学びに向かう課題設定が課題。

### 令和4年度「全国体力・運動能力調査」の結果

- 中2男女とも、長座体前屈・上体起こし・ハンドボール投げに課題、合計得点全国比は女子が-11pt、男子が-16pt、低位層の得点が低い。
- 朝食摂取率は、全国平均を7pt、昨年を9pt下回った。

### 伊丹市の重点的な取組

- 「主体性の育成」「自尊心の育成」「子どもの最善の利益のために」
- ① 確かな学力の育成
    - ・ 授業改善、生活との結びつき、主体的・対話的で深い学び、ICTの有効活用、デジタル教材の活用
    - ・ 習熟度別学習、個別最適な学び
    - ・ 計画的な家庭学習の習慣づけ
    - ・ 情報活用能力の育成
  - ② 豊かな心と健やかな体
    - ・ いじめ未然防止、早期発見、早期対応の組織的取組の推進
    - ・ 不登校対策継続、体力向上促進
  - ③ 信頼される開かれた学校
    - ・ コミュニティ・スクールの充実、教員との交流

### 保護者・地域の願い

- ・ 安心して通わせることのできる学校
- ・ 確かな学力をつけてくれる学校
- ・ 保護者、地域とつながる学校

## 研究テーマ

主体的・対話的で深い学びを促すプロジェクト型学習の創造  
～思考力・判断力・表現力の育成をめざして～(最終年)  
(11月29日「研究発表会」)

## 経営上の努力点

- ① 生徒ファースト・保護者目線
- ② 教育課程の確実な実施
- ③ 当たり前のことを当たり前に行っていく(凡事徹底)
- ④ 無理のない挑戦を続ける(前年踏襲からの脱却)
- ⑤ お互い様の文化を築く(困ったときは互いに協力する、雑相の文化)
- ⑥ 組織で対応:即連絡・即相談・即報告
- ⑦ 地域の教育力の導入による開かれた学校づくり(CS)
- ⑧ 危機管理:事故の予見と安全確保
- ⑨ 学校評価・授業評価等の活用によるPDCAサイクルの確立
- ⑩ 若手教員が伸びるOJT・自主研修

## みんなの合い言葉

みだしなみ  
そうじ  
あいさつ  
じかんを守る



## 目指す教師像

- ・ 気持ちのそろった教師集団
- ・ 戦略的でチャレンジ精神を持つプロの教師集団・授業の達人
- ・ 生徒・保護者・地域とつながる教師集団(3つのワーク・ション)

## 学校教育目標

予測不能な未来を自立して生き抜く  
知・徳・体バランスのとれた人間力ある生徒の育成

## 目指す生徒像

夢や目標をもち、主体性・協働性・創造性・最後までやり抜く力のある生徒

### すべての生徒の学びを支える学習指導

- ① 生徒の基礎学力定着のためのシステムの確立(ユニバーサルデザイン)
- ② 笹トレの充実(30分・ティーチャ-指導)
- ③ 「笹スタ5」の実践・授業規律の徹底
- ④ 課題解決力・思考力・判断力の育成
- ⑤ 7・グループ学習、課題設定の工夫
- ⑥ ICT(タブレット)の活用の工夫
- ⑦ めあて、振返りの質の明確化
- ⑧ 評価基準の事前提示、サクセスシート充実
- ⑨ 授業評価システムの継続・検証
- ⑩ 目的意識・社会とのつながりを意識した授業や行事(なぜ学ぶのか?)
- ⑪ 家庭での振り返り学習の定着・充実
- ⑫ 自分の考えを表現する力をつけるための授業の工夫
- ⑬ 単元テスト、検定等の確実な実施

### 豊かなつながりを生み出す生徒指導

- ① 学校全体で統一した生活習慣の徹底生徒への個別の声かけ(SHR、給食、整理整頓、移動等)
- ② 道徳科の授業力向上・評価研究
- ③ いじめ・不登校等の未然防止・早期の組織対応(不登校数5%以下)
- ④ スマホの情報モラル教育の徹底
- ⑤ Q-Uを活用し、ルールとリレーションの確立した学級作り(満足群60%以上)
- ⑥ 生徒会活動の活性化…自主的な学校生活改善とリーダー育成
- ⑦ もくもく清掃による整った学校環境
- ⑧ 体力調査を活用した体力向上
- ⑨ 給食を活用した食育の推進
- ⑩ ICTの活用による家庭での生活習慣(朝食・睡眠・学習等)の改善

### ともに育つ地域・校種間連携 双方向的な家庭とのかかわり

- ① HPや通信、メール等による積極的な情報発信
- ② 地域やPTAとの双方向の連携強化
- ③ 土曜学習の継続・充実
- ④ 生徒のボランティア活動の充実(生徒会との連携)
- ⑤ 幼小中の連携による生活習慣の改善や体力の育成
- ⑥ 「チーム学校」を目指した地域及び外部機関等との連携強化(SC・SSW・SSS)
- ⑦ 学校運営協議会との協働による学校運営の充実
- ⑧ 防災教育の充実

## 目指す学校像

- ・ 夢や目標を実現する力を育てる学校
- ・ 喜びにあふれた毎日通いたい楽しい学校
- ・ すべての生徒が安心して過ごせる居場所のある学校
- ・ 保護者が自分の子どもを通わせたい学校

教育活動の基盤  
高い道徳性と人権尊重の精神